

2016年 第63回応用物理学会春季学術講演会

講演会企画運営委員長 馬場 俊彦

春季学術講演会が、2016年3月19日(土)から22日(火)までの4日間、東京工業大学大岡山キャンパスで開催されました。23区内、駅からすぐの、大変便利な会場での開催となりました。

今回の総参加者数は7196名で、昨年春と比べ、450名の増加となり、連休中の開催にもかかわらず、多くの方にご参加いただくことができました。また、「科学と産業の凋落と再興：応用物理と未来社会」[Internet of Thingsを俯瞰する]、[フォノンエンジニアリングの広がり]など、5件の特別シンポジウムが開催され、聴講者の皆様からは、非常に興味深かった、と大変好評でした。

今回の学術講演会では14の大分類と、1つの合同セッションに、合計4002件の講演がプログラムされ、口頭発表：2813件、ポスター発表：1189件が行われました。大分類分科別に投稿件数を図1にまとめました。

登壇者の所属を基に投稿機関数を分類すると、大学等83%、国・研究機関10%、企業7%で、前回春と同程度でした。通常講演の口頭発表で聴講者数の最多は「15.4 III-V族窒化物結晶」で、200名の聴衆を集めました。

講演会初日は口頭講演、ポスター講演のほか、チュートリアルから始まります。チュートリアルは、当該分野を学び直してみようという方のほかに、新たにその分野を学ぼうという方にも理解できるように、基礎から応用までを講師の方に、3時間お話しいただいています。今回は初日に4件、最終日に2件実施しました。過去の人気講演を再度実施し、さらに聴講料を値下げした効果もあってか、完売の講演が出るなど盛況でした。

さらに、今回は5つの特別シンポジウムと24のシンポジウムが開催されました。いずれも現在ホットな話題や重要

になりつつある話題を取り上げており、最新の話題が短時間に理解できることから、講演会の顔となっています。最終日に開催された「フォノンエンジニアリングの広がり」は500名を越す聴講者を集めました。また、「Internet of Thingsを俯瞰する」は300名以上、「科学と産業の凋落と再興：応用物理と未来社会」も200名以上を集め、いずれも大盛況でした。

2013年春から始まった“Poster Award”では、午前1回、午後2回実施されたポスターセッションにおいて、セッションごとに、優れたポスター講演を選出し、選出されたポスターを講演終了後も別の場所で閲覧できるようにしました。そこには、最終的に24件のポスターが並び、多くの方が足を止めていました。Poster Awardの選出過程は以下のとおりです。①プログラム委員会(6月開催)で大分類ごとのプログラム編集委員による予稿審査・候補対象の絞り込み、②ポスターセッション開始直後30分間での評価者による最終候補選考の後、③本会理事、フェローおよび代議員による投票、投票結果を基に、④ポスターセッション終了直前に開催される最終選考会議で決定されます。多くの方の協力により質の高いポスター発表を選出できています。Poster Awardの設定を機に、ポスターセッションがより充実した情報交換の場となることを期待しています。

昨年春の講演会より、投票資格のある理事、フェロー、代議員を事前に投票者に割り当てることで(飛び入り投票も可)投票者数が増加しました。ご協力いただきました方々には大変感謝しますとともに、次回も是非投票にご協力くださいますようお願いいたします。

Poster Awardと同じく2013年春から

始まった、“JSAP Photo and Illustration Contest”を展示会場にて実施しました。いずれも、芸術性を踏まえて、意外性、偶然性ありのすばらしいワンカットで、多くの参加者の注目を浴びていました。この企画では、参加者の投票により、最優秀賞1作品、優秀賞4作品が選ばれました。

講演会の企画運営では、参加者の皆様へのサービス向上を意図して、ITの積極的な活用にも注力しています。例えば、プログラムや予稿PDFをスマートフォンやタブレットでも閲覧できるアプリを提供しています。2013年からはTwitterやFacebookによる情報発信も行っています。

最後に、今回の講演会は、会場の東京工業大学の教職員で構成された現地実行委員会による1年間にわたる準備とアルバイトの学生たちを含めての4日間と前日、前々日の現場での活躍のおかげで、全ての行事を滞りなく進めることができました。現地実行委員長 荒井滋久先生、現地実行副委員長 水本哲弥先生をはじめ、現地実行委員会の諸先生には深く感謝申し上げます。また、今回ご協力いただいた関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。

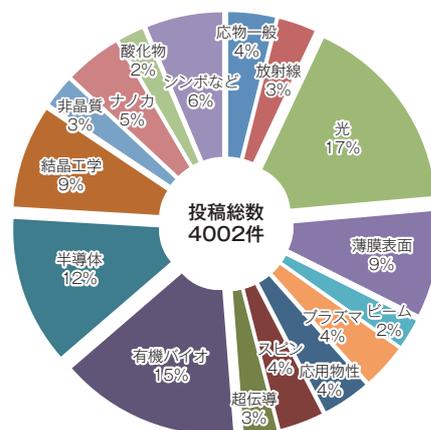


図1 第63回応用物理学会春季学術講演会投稿論文分類。各値には若干の誤差があります。